

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的	取組の内容	取組の効果
西日本電信電話株式会社	情報・通信業	約42,000人 (グループ会社含む)	ワーク・ライフ・マネジメントの推進や、社員のさらなる主体性・創造性の発揮、自律的に働く場所や時間をコントロールし、付加価値を生む「新たな働き方の実現」	<ul style="list-style-type: none"> • サテライトオフィス等の設置・拡大 社員の働く場所の選択肢拡大を目的としたサテライトオフィスの設置・拡大を推進（サテライトオフィス52拠点、分散勤務用オフィス142拠点）。出張時や外出時などの「スキマ時間」の有効活用など、自律的に働く場所や時間をコントロールし、付加価値を生む働き方を実現。 • フレックスタイム 社員のさらなる主体性・創造性の発揮および生産性の向上を目的とし、フレックスタイム制度を整備し、テレワーク実施を促進。 • リモートワークの更なる促進 社員のさらなる主体性・創造性の発揮および生産性の向上を目的とし、1か月におけるリモートワークの実施回数制限撤廃やリモートワーク手当、交通費の実費化を創設。 • テレワーク・デイズへの参画 総務省など主催の「テレワーク・デイズ」へ参加し、2020年度は「実践団体」として、ニューノーマル時代をとらえた新しい働き方への変革を推進。 • web会議・ビジネスチャットの活用 コミュニケーション促進の他、移動時間の削減やペーパーレス化を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> • リモートワーク実施率62.7% ※ 2021年4月実績 ※ エッセンシャルワーカー除く ※ 自宅でリモートワークを実施した実績に基づき算定 • 社員アンケート結果 Web会議等ツールの利用や会議の見直し等により、リモートワークによる生産性向上を73%が実感。 • ペーパーレス化による経費削減 等